

景観まちづくり市民懇談会 ～都留市らしい景観形成に向けて～



【活動概要】

景観計画策定に向けて、市民の視点から景観まちづくりの方向性や協働による取組などを協議し、その成果を「都留市景観まちづくり市民意見書」としてまとめ、市に提出しました。

【活動日】

平成30年9月～平成31年4月（全6回）

【参加者（会員）】

公募市民、関係団体代表者、都留文科大学学生など計31名

【主催】

都留市 建設課 都市計画担当

【活動成果】

市民懇談会では「都留市の景観とは何か？」という、それぞれが日常感じている想いを共有する共通の土壌を創ることから始め、景観特性が見えてきた段階で「景観フィールドワーク」を行い、景観資源を再発見するとともに景観の奥行きを見直すこととなりました。協議を重ねる中で、地域の暮らしの現われが景観となること、住む人が誇りに思い、訪れる人が住んでみたいと思えるような景観づくりが必要であること、そのためには、住民が景観を意識し、心配りをし、できることから景観づくりの取組を進めることが重要との意見が出され、景観まちづくりの意識の高揚に繋がりました。

